



### 清水住民が発電反対の意見

## 統合新会社、問題無く総会終える

6月28日、JXTGとなり初めての株主総会が開かれた。この総会では、主に以下の質疑があった。質問への回答の多くを杉森エネルギー社長が

行っていた。旧TIG役員は藤副社長らの出番はなかった。質問：地球環境のためのパリ協定で再生エネルギーへの転換が加速するが石油工



会場の東京千代田区のホテル

会社として今後どういう絵を描くのか？ 回答：「石油消費が一層減り、環境負荷の少ない2030年のエネルギー構造をもとに将来計画を行う。2030年の長期ビジョンから中期目標（3年後の31

全石油  
ゼネラル石油労働組合  
〒299-0108  
千葉県市原市千種海岸1番地  
Tel 0436-23-9555  
Home Page URL  
http://oilunion.org/

年実質営業利益5000億円など）は、導き出している。」 質問：水素SS50力所は果たして商売になっているのか、どの程度の供給か？

回答：「日に2から3台。少ないところは1台程度」、現状のFCVの普及率からするとこの程度だろうと感じる。清水工場のLNG発電はやめてほしいと計画地の3人の住民から、発言があった。住宅地に近接しており環境悪化、地震・津波の危険、そして会社側の問答無用の対応への批判があったがそれに対し「建設は決定事項ではない。関係者と十分話し合って決める」との回答であった。

### 清水LNG発電所計画

## 「もう無理でしょう」

「清水LNG発電所計画」は、JXTGエネルギーが約85%出資し、清水油槽所内に新電力事業として火力発電所建設計画を進めている。これに地域で反対運動が起きている。

この発電所は、LNG（液化天然ガス）ガスタービン複合発電設備、約170万kW

### 残業ゼロ法連合賛成か？

何度も廃案になってきた「残業ゼロ法案」を連合会長が了承すると報じられている。年収1000万円超の専門職が対象のようだが、日経連は

年収400万くらいまで下げたいといっている。派遣法も初めは限定されていたが今は野放図。残業してもただ働き。そんなものを認める連合など存在する意味があるのだろうか。



発電所建設予定の清水市周辺

の出力で、平成33年7月の運転開始を目標にしている。同油槽所は、静岡港および清水エル・エヌ・ジー株式会社袖師基地に隣接し、LNGの調達可能な場所であると同時に、東日本（50Hz）・西日本（60Hz）の両方に送電可能な場所に位置している。浜岡原発の再稼働に比べればLNG発電は環境に優しく、安全であるが、清水の中心地

に位置しているの

で反対されている。JRや国道、清水港といった交通網や物流拠点、商業地、住宅地、公共施設が集中する場所の数

百メートルの近傍であることに加え、タワーマンション近くに煙突がヨキヨキ。遠くには未来には南海トラフ地震の想定震源地域でもある。

今後30年間に8割強の確率で震度7の地震と5メートル超の津波に見舞われるといわれている。さらには最近判明したが、「草薙断層」の存在もある。建設反対を訴えるデモ行進や集会が起きているし、街頭での署名は1万人超（株主総会

### 新会社では処分明示

7月のイントラネットに、石油開発会社の海外出張所でハラスメントによるけん責処

での発言から）。静岡市は前のめりだが、企業は反対住民に高圧的対応。この計画は暗礁に乗り上げたとみるべからう。

分をしたという。その内容は不明だが、旧TIGでは処分があつてもほとんど報じられず、闇から闇になされるもので、注意喚起にもならないと批判してきた。旧JX方針だろうが、今回の処分明示は、その具体的な内容や処分程度はわからないが、ハラスメントを許さないという会社の強い姿勢を示したことは評価できる

## 第36回健康保険組合会 夏季契約保養所削減案も

7月14日、品川にて第36回健康保険組合会が開催された。

今回の議案は平成28年度収入支出決算、事業報告であり、その他として合併設立委員会の報告であった。

健康保険については平成25年度に保険料率を引き上げて4年目となる中、積立金の繰り入れを行い現行料率7・8%を維持した状態で収入、支出とも予算通りとなり経常収支で黒字となった。

介護保険については被保険者数、平均標準報酬月額の下に、より収入の若干の減少はあったものの料率1・12%を維持した状態で黒字となった。監査報告で財政状況は健全財政と判断された。保険事業活動については従来から行ってきた24時間対応の電話相談サービスに加え、

「メンタルヘルスカウンセリング」を新たに導入しメンタル面の相談窓口のサービスを提供し

合併後の付加給付、保険事業については11月の臨時組合会で決定する予定であり今後、健保合併2018年4月にむけ保険事業予算の作成や保険料のシミュレーション、組織体制の検討が行われる。



# OU役員選挙結果 本部は据え置き、千葉は様変わり

7月1日、7月19日まで、役員選挙を実施した。本部役員は昨年同様、委員長に千葉の武澤正福、副委員長に堺の小山洋一、事務局長に千葉の金森憲太郎がそれぞれ務める。

千葉支部役員は山田、岡村、田中が抜け、新たに役員を1名追加し岩本、梶山、須田、今松が加入した。

役員の内れ替わりに伴い、これからの組合活動の活性化を期待し労働条件、雇用を守る為に更なる団結を固めていく。

本部	
委員長	武澤 正福
副委員長	小山 洋一
事務局長	金森憲太郎
事務局次長	和田 伸夫
執行委員	川満 怜
会計監査	山口 宏幸

千葉支部		堺支部	
支部長	佐藤 孝二	支部長	中島 辰也
事務局長	今松 正輝	事務局長	青野 義和
執行委員	菊地 将也	執行委員	片岡 裕詞
執行委員	須田 和久	執行委員	吉本 弘樹
執行委員	堀川 裕太	執行委員	竹谷 敏行
執行委員	小川 真吾	執行委員	高治 勝
執行委員	塚田 俊子		
執行委員	仙石 知敏		
執行委員	岩本 修範		
執行委員	工藤 道晶		
執行委員	真嶋 智己		
執行委員	梶山 実可子		
会計監査	遠間 大悟		

## 役員インタビュー

今回、選挙後の本部役員インタビューを実施し、今後の抱負などを答えてもらった。質問内容は、以下の通り。

どういう組合にしていきたいですか？

会社へ何を期待しますか？

組合員に何を期待しますか？

組合員へ一言。

今回回答を頂いたのは、武澤正福委員長、小山洋一副委員長、金森憲太郎事務局長の3人。

それぞれの回答を下記に記す。

## 言うべきことを言える組合に



委員長 武澤 正福

会社とは協調しつつ、言うべきことは言える組合。日本のリーディングカンパニーとして組合員が誇りを持てる会社作りをしてほしい。もっと声を掛けて欲しい。Day2 が控え、不安は多いと思いますがぜひ一緒に乗り越えましょう。

## 一緒にやりましょう活動を



副委員長 小山 洋一

会社とは、お互い尊重して、言うべきところは言える関係を持った組合。従業員、関連会社社員全員が、世界トップの総合エネルギー企業で働く事を誇れる会社。5年、10年後を見据えた建設的なご意見、叱咤激励。健康で、楽しく生活が送れるように力を合わせて頑張りましょう。



事務局長 金森 憲太郎

# ジクシス転籍者からの通信 公取委、ジクシス資本撤退を要求

旧T.Gは、J.X統合にあたって公正取引委員会から、ジクシス（L.P.G販売会社）資本撤退を求められた。4社均等出資だったが、住友商事とコスモ石油40%、昭和シェル20%になった。T.G出向者30人強の半数は6月1日にジクシスに転籍し、半数の若手は転籍をせず1年以内にJ.X.T.Gに戻る。

私は転籍組。J.X.T.Gからメールが来なくなっただけで給与が下がったことくらいで実務には大きな変化はない。ただし、心構えは変わった。

相変わらずL.P.G販売会社「ジクシス」の収益があまり良くなく、これまでと違い将来を本気で考えるようになった。収益が悪化した場合、本場に給料・一時金は支払われるのか、非常に良い立地であるJ.X.T.Gの基地をいつまで使用できるのか、3社の資本構成で、プロパー社員の賃金や労働条件はどこにあわせていくのか。

プロパー一期生として、L.P.G会社の収益改善、体質改善のために、積極的に意見を言い続けていく。

## 堺製油所

### 17PSD二無完遂

### しかし気になる統廃合

7月3日に第二ガスタービン発電装置が正常運転になり堺製油所すべての装置が通常運転となる事で堺の17PSD（小規模定修）が終了となった。

途中、各プラントでイレギュラーが発生したものの大きなトラブルもなく無事、三無完遂（無事故・無災害・無公害）を達成した。

何より評価出来るのは若返りの激しい近年で若手の成長が著しくもちろんベテランの力ありきだが三無完遂には大きく貢献していると思われる。

またJ.X.T.Gとして初の

## T.M通信

### 吸収合併を 実感しています

これほど販売員「T.M」の

定修であり今は無事故が立ち上がった安心感でホッと肩をおろしてゆつくりしたい所だが、やはり気になる製油所統廃合が待ち構えている。先が何も見えない状況の中、2年後には19TA（大型定期整備）も控えているが、まずは通常運転時でもトラブルを起こさず近隣住民などに迷惑を掛けない信頼される製油所としてあり続けるしかない。

数が必要なのか、無駄で結論が出ない会議、毎週のようには会社の経費での飲み会など、エクソンモービルグループの時にはなかったことが多々あります。しかし、水曜のノー残業デーやT.Mをバックアップする業務グループの存在など、プラス要素もありますので、良くも悪くもなっていない感じます。

でも、何かにつけてJ.Xに合わせるなど、エクソンモービルグループの文化をやっぱり否定されているのがツライですね。まあ、吸収合併なので当たり前ですが。

システムが並立しているので、当然ですがこれまで通りのエクソンモービルグループのディーラーしか対象にありません。

## 統合後初の合同キャンペーン 狙いは消費者への認知向上

J.X.T.Gエネルギーは7月15日から8月31日まで、全国約1万4000か所の系列サービスステーションで「J.X.T.G誕生キャンペーン」を実施する。

グループ統合後初の共同キャンペーンで、国内最大ネットワーク誕生に対する消費者の認知向上を促すのが狙いだ。クイズに答えて正解すると抽選で「最大100万円分のガソリ

選で「最大1万円（ENEOSカード・シナジーカード会員はキャッシュバック、Tポイント、その他利用者には現金進呈）」が当たるBコースを用意。

ENEOS、エッソ、モービル、ゼネラル各サービスステーションへの集客と、給油・メンテナンス利用の促進につなげる考えだ。

「または軽油（現物ではなく現金にて進展）」が当たるAコースと、サービスステーション利用者の中から抽選で「最大1万円（ENEOSカード・シナジーカード会員はキャッシュバック、Tポイント、その他利用者には現金進呈）」が当たるBコースを用意。